

# 宮崎県の 急性呼吸器感染症（ARI） サーベイランスにおける 病原体検出状況

微生物部 ○新田 真依子 水流 奈己 鬼塚 咲良  
成田 翼 矢野 浩司  
企画管理課 山口 凌

1

# 急性呼吸器感染症（ARI）について

急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)とは  
急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎)  
又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す  
病原体による症候群の総称

令和7年4月7日から感染症法上の  
5類感染症に位置付け



定点サーベイランスの対象

2

# ARIサーベイランスについて

## ARIの症例定義

発熱は含まない

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のどれか1つの症  
状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師  
が感染症を疑う外来症例

ARI定点病院として28の医療機関を指定

病原体定点：5医療機関（令和7年4月～12月は4医療機関）

各施設 毎週最大5検体を採取

調査期間 令和7年4月7日～10月31日

3

# 検査項目

## 検査項目（スクリーニング）

- ・インフルエンザウイルス A/B
- ・新型コロナウイルス
- ・RS (Respiratory syncytial)ウイルス A/B
- ・パラインフルエンザウイルス 1～4型
- ・ヒトメタニューモウイルス(hMPV)
- ・ライノウイルス
- ・エンテロウイルス
- ・アデノウイルス

12種類のウイルスについて  
マルチプレックスリアルタイム  
RT-PCRを実施

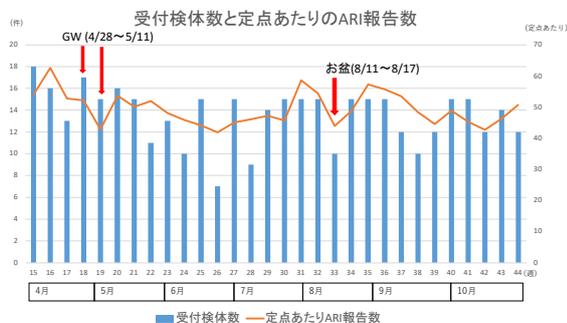
「検出せず」の場合  
9種類追加

## 追加検査

- ・パレコウイルス
- ・ヒトコロナウイルス229E
- ・ヒトコロナウイルスOC43
- ・バルボウイルスB19
- ・百日咳菌
- ・バラ百日咳菌
- ・Bordetella holmesii
- ・肺炎マイコプラズマ
- ・肺炎クラミジア

4

# 週別搬入検体数



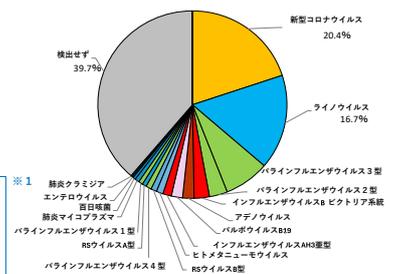
第15週～第44週の30週間で406検体の提出あり  
約13.5検体/週

5

# 検体搬入数と検出割合内訳

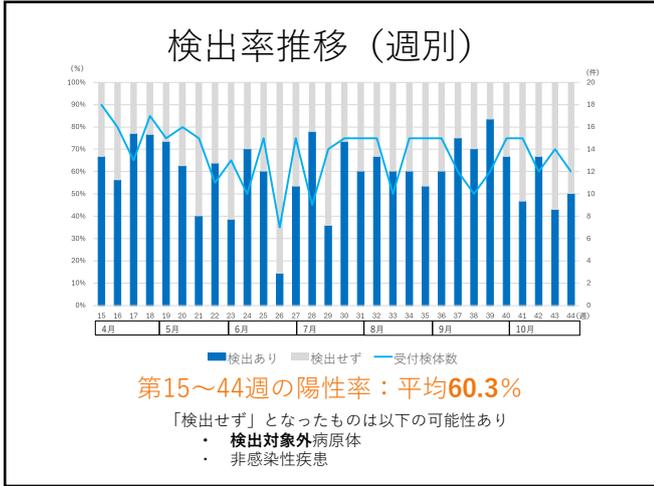
検出病原体	陽性数	陽性率
新型コロナウイルス	83	20.4%
ライノウイルス	68	16.7%
パラインフルエンザウイルス3型	32	7.9%
パラインフルエンザウイルス2型	13	3.2%
インフルエンザウイルスBヒクトリア系統	11	2.7%
アデノウイルス	8	2.0%
インフルエンザウイルスAH3型	6	1.5%
ヒトメタニューモウイルス	5	1.2%
パラインフルエンザウイルス4型	4	1.0%
RSウイルスB型	4	1.0%
パラインフルエンザウイルス1型	3	0.7%
RSウイルスA型	3	0.7%
エンテロウイルス	1	0.2%
エンテロウイルスB19	8	2.0%
エンテロウイルス	3	0.7%
肺炎マイコプラズマ	3	0.7%
百日咳菌	2	0.5%
肺炎クラミジア	1	0.2%
パレコウイルス	0	0.0%
ヒトコロナウイルス229E	0	0.0%
ヒトコロナウイルスOC43	0	0.0%
バラ百日咳菌	0	0.0%
B.holmesii	0	0.0%
検出せず	161	39.7%
受付検体数	406	※2

## 病原体検出割合

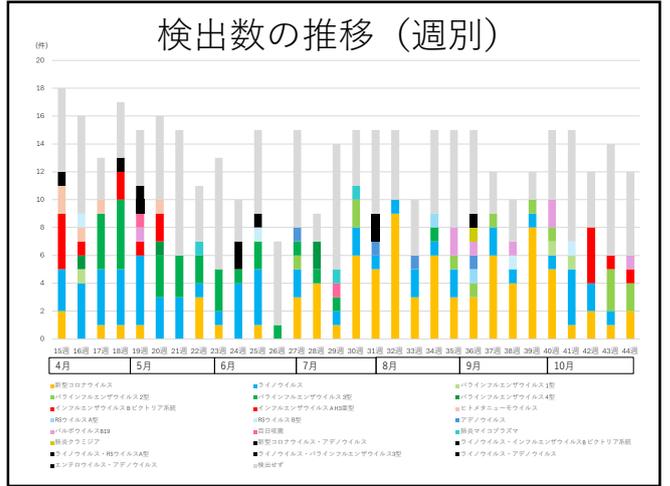


※1 スクリーニングで「検出せず」の175件に対して実施  
※2 406検体のうち10検体から2種の病原体を検出

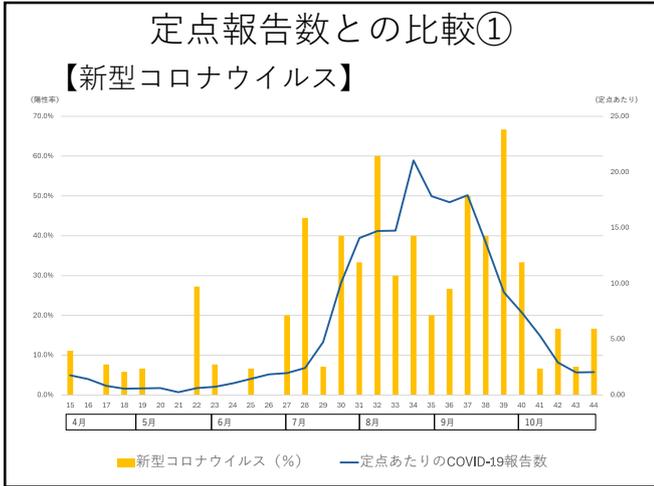
6



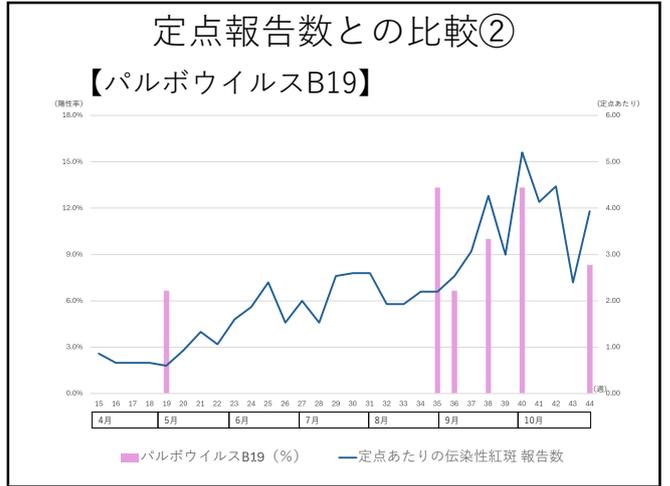
7



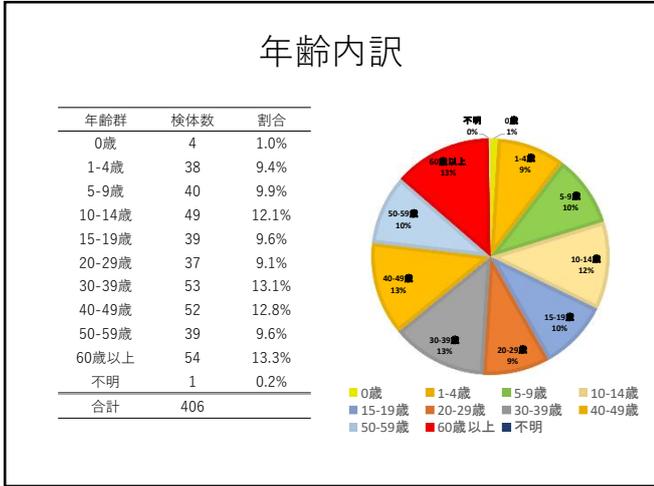
8



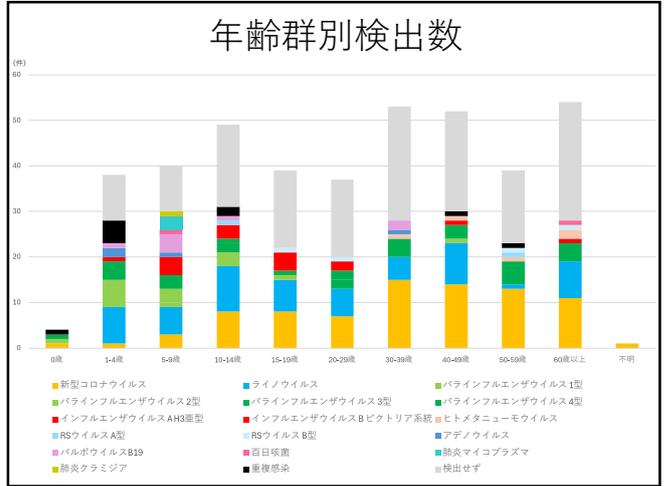
9



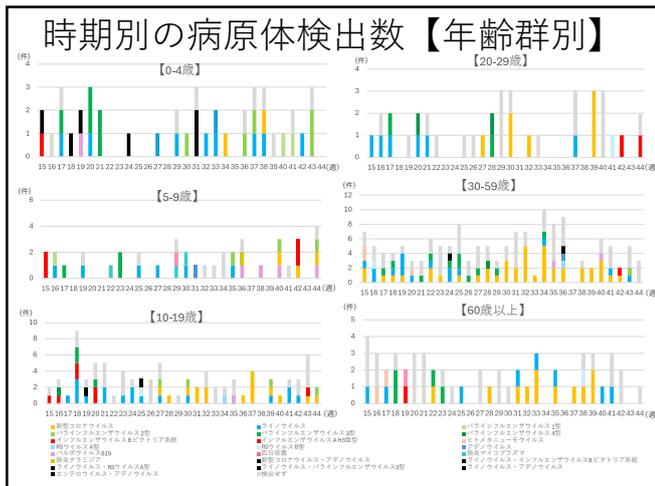
10



11



12



13

### 重複感染

病原体 1	病原体 2	件数
ライノウイルス	パラインフルエンザウイルス3型	4
ライノウイルス	アデノウイルス	2
ライノウイルス	インフルエンザウイルスB ビクトリア系統	1
ライノウイルス	RSウイルスA型	1
エンテロウイルス	アデノウイルス	1
新型コロナウイルス	アデノウイルス	1
合計		10

年齢群	件数
0	1
1-4	5
10-14	2
40-49	1
50-59	1
合計	10

- ・ 10件中8件が**ライノウイルス**に関連
- ・ 10件中6件が0～4歳の**乳幼児**

14

- ### 考察
- ・ ARIサーベイランスにより、実態に即した流行状況の把握が可能
  - ・ **年齢層ごと**に流行構造が異なる
  - ・ **ライノウイルス**は通年検出され、重複感染に関与しやすい可能性
  - ・ 「検出せず」症例割合は**約4割**で、**検出対象外病原体**や非感染性疾患が含まれる

15

- ### まとめ
- ・ 本県のARIでは**新型コロナウイルス**と**ライノウイルス**が主要病原体
  - ・ 平時の「**検出せず**」を把握することで検出対象外の感染症（新興感染症含む）の早期探知につながる可能性
  - ・ 継続的なデータ蓄積と、季節変動や流行パターンなどの評価も重要

16